

研究課題名	胸膜中皮腫における免疫チェックポイント阻害薬の奏効性に関連する因子の探索
研究期間	2026 年 9 月 17 日 ～ 2035 年 12 月 31 日
研究の対象	2022 年 1 月～2026 年 6 月の間に広島大学病院呼吸器外科で胸膜生検を受け、かつ、胸膜中皮腫に対する免疫チェックポイント阻害薬の治療を受けられた方
研究の目的・方法	研究目的：胸膜中皮腫において免疫チェックポイント阻害薬の治療効果に関わる因子を明らかにすることです 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータと、先行研究「被爆者がんの分子発がん機構研究のための生体試料保存（E2009-9938）」で採取した胸膜の残余分を使用して、免疫チェックポイント阻害薬の治療効果に関わる因子について解析します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、術前 PS、喫煙歴、喫煙指数、術前身長、術前体重、併存疾患、術前 CT・FDG-PET/CT 所見（腫瘍の位置、腫瘍径、リンパ節転移の有無、遠隔転移の有無、腫瘍の SUV max 値）、血液検査（血液学検査、生化学検査、免疫血清学検査）、臨床病期、術前呼吸機能（FEV1.0、%FEV1.0、VC、%VC、FVC、%DLCO）、手術施行日、術式、切除部位、手術時間、出血量、切除範囲、術後合併症、術後呼吸機能（FEV1.0、%FEV1.0、VC、%VC、FVC、%DLCO）、病理学的組織型、病理病期、病理学的因子、薬物療法の有無（レジメン含む）、増悪の有無、増悪日、増悪後治療内容、無増悪生存期間、全生存期間、死因 試料：先行研究「被爆者がんの分子発がん機構研究のための生体試料保存（E2009-9938）」で採取した胸膜組織 試料・情報の管理者：広島大学原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科 教授 岡田 守人
外部への試料・情報の提供	本研究に関わる RNA の解析業務は(委託先選定中)に委託します。また試料は、特定の個人を識別できる情報の代わりに研究用の番号を付けてどなたのものか分からないようにした状態で、委託先へ郵送します。
利用または提供を開始する予定日	2026 年 9 月 17 日（本学における実施許可日）
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。

	す。
研究組織	本学の研究責任者 原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科 教授 岡田 守人 業務委託先 企業名：選定中 業務内容：RNA の解析
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。 なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 呼吸器外科 担当者：久保井 里紗、坪川 典史、見前 隆洋 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5869